

福岡PayPayドーム（オフィスエリア）



外観

プロ野球・福岡ソフトバンクホークスの本拠地である福岡ドームは、その愛称「ヤフオクドーム」を、2020（令和2）年から「福岡PayPayドーム」へと改称。同時に館内オフィススペースもリニューアルされた。



トイレ入口



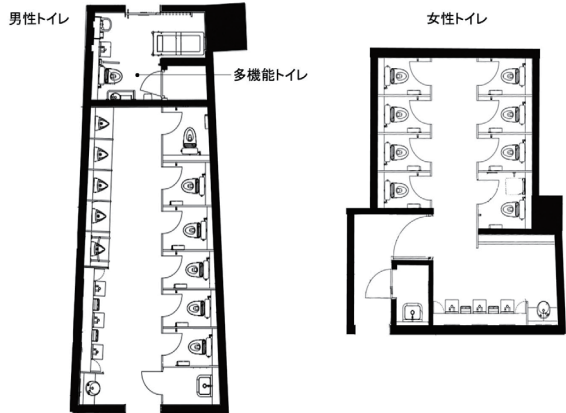
トイレ入口に掲示し、トイレ内部の設備を確認できるようにしている。ソフトバンクのカラーリングやモチーフを壁面デザインに取り入れ、社員のエンゲージメントを高めている。



男性トイレ 全体

2トーンの木目調をMIXし、ナチュラル趣きのなか、軽やかさと温かみを感じさせる空間。各コーナーに間仕切りを設け、プライバシーに配慮している。

トイレ図面



男性トイレ
小便器コーナー

床の清掃性や節水性に優れた壁掛自動洗浄小便器を設置。プライバシーに配慮し、小便器の間に仕切りを設けている（高さ140cm）。



女性トイレ
洗面・
スタイリングコーナー

コンパクトで水じまいのよい壁掛ハイバック洗面器には、非接触で衛生的な自動水栓とオートソープを完備。またスタイリングコーナーにはコンセントを設け、携帯用ヘアアイロンなどが利用できる。



女性トイレ
歯みがきコーナー

近年のオーラルケア意識の高まりから、歯みがき器を設置。用足し空間とは別に、独立したコーナーとして新設された。



女性トイレ
大便器コーナー

ブースの間仕切り壁を天上まで立ち上げ、防犯対策を図るとともに個室感を高めている。大便器は洗浄音が静かで節水性に優れた、パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用。すべてのブースに手すりを設置。



女性トイレ
セルフケアブース

女性特有の健康課題に配慮した新しい視点から生まれた空間として、セルフケアブースを1ヶ所設置。椅子や着替え用のフィッティングボードが完備され、体調がすぐれない時には安心して利用できる。



多機能トイレ

車いす使用者やオストメイトなど、多様なオフィスワーカーを想定し、コンパクトオストメイトバックやパブリック用折りたたみシートを備えた多機能トイレを設置している。

水まわりの特長

改修の経緯

福岡ソフトバンクホークス株式会社は、2018（平成30）年創設80周年、翌2019（平成31）年は福岡移転30周年という記念すべき節目に際し、球場を全面リニューアル。また、2020（令和2）年には、次世代型の複合エンターテインメントを体感できる新施設「BOSS E-ZO FUKUOKA（ボス イーズ フクオカ）」をオープンするなど、球団創設100周年となる20年後、さらにその先と「地域に根ざした企業として福岡市の魅力アップへ貢献するために、世界一のエンターテインメント企業」を目指している。そしてさらに持続成長し続けるために、その重要な鍵となるオフィス環境整備として、PayPayドーム内オフィストイレ改修を実施した。

トイレの特長

トイレは、バランスのとれたナチュラルな素材・照明の採用によりくつろぎ感を創出。働く人のニーズを取り入れ、衛生・快適・健康を連動させたニューノーマルな空間を実現した。歯みがき行為を用足し空間であるのに抵抗があるという声を受け、歯みがきコーナーを新設。さらに衛生性配慮として、洗面器の間にハンドドライヤーを設置。また、女性特有の体調不良時に安心して利用できるよう、セルフケアブースを1ヶ所設置。フィッティングボードや椅子を用意し、トイレ内で健康をサポートするという新しい視点を生かした。そのほか、プライバシー配慮として各コーナーごとに間仕切りを設置するなど、ワーカー目線での機能向上を図り、優秀な人材確保、生産性向上につながるトイレ空間となっている。

建築概要

名称	福岡 PayPayドーム（オフィスエリア）
所在地	福岡市中心区地行浜2-2-2
施主	福岡ソフトバンクホークス株式会社
設計・施工	建築 株式会社竹中工務店
竣工年月	（改修）2020年4月
構造・階数	鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造・地上7階

おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS497B
ウォシュレットPS（擬音装置「音姫」付きエコリモコン）:TCF5533AYR
棚付二連紙巻器:YH701／自動洗浄小便器:UFS900WR
壁掛ハイバック洗面器:LS125DM／歯みがき器:L595
クリードライ（ハンドドライヤー）:TYC420W／コンパクトオストメイトバック:UAD系
パブリック用折りたたみシート:EWC500RR／フィッティングボード:YKA41
パブリック用手すり:T114C6